

ポイント 決算書は企業の財政や業績を示す診断書のようなものです。

A1 決算書は貸借対照表や損益計算書に代表されますように、その企業の財政状態や経営成績を示しています。企業の健全さや体力、能力の大きさが表現されているものであり。会社の状況を知るのに欠かせないものです。

貸借対照表 (財政状態) どんないくらをどれだけ有しているか、またどのような債務がいくらあるかなど企業の資金の調達や運用状況を示します。

損益計算書 (経営成績) どれくらいの売上があり、またどのように経費がかかって、いくら儲かって企業の収益、費用や利益を示します。

その決算書はその企業の経営者に限らず、その企業を取り巻く様々な関係者に対して次のように必要な情報を与えます。

経営者 自社の経営成績や財政状態をチェックし、今後の経営に役立てる。

従業員 自社の状況を把握し、業務の遂行に役立てる。

株主投資家 今後の投資の判断や株価や配当の動向を探るのに役立つ

取引先 取引を行うのに安全かどうかの判断に役立つ。

金融機関 融資の判断や資金の回収の判断に役立つ

同業者 ライバルとして同業の傾向を探る。

アナリスト 格付けや企業分析に利用されます。

